

信州公衆衛生学会設立の経緯

我々長野県民は、平均寿命が男が全国1位、女が全国3位と、長寿を享受しています。これは、長野県内の医療機関の特徴ある医療活動に加え、長野県内の公衆衛生関係者が、それぞれの立場で、地域住民と協力して永年にわたり健康づくりを行ってきた賜物であると考えています。

一方、昨今、公衆衛生分野では、新しい公衆衛生の概念(New Public Health)が台頭していることや、根拠に基づく公衆衛生活動の実施(Evidence based Public Health)が求められるなど、新たな潮流が起こっています。

そこで、平成17年に長野県保健所長会と長野県公衆衛生医師会では、「長野の健康長寿」を科学的に評価・研究し、今後とも継続させるために、関係者が一堂に会し、学術研究や情報交換を行う場を創ろうと考え、「信州公衆衛生学会」の設立を関係団体に提案しました。

この提案をきっかけとし、平成17年7月22日に長野県の公衆衛生関係者12名からなる「信州公衆衛生学会」設立準備委員会が発足いたし、学会設立の準備を開始いたしました。信州公衆衛生学会設立総会開催時には15人の方々が準備委員として参加し、ボランティアに準備をすすめました。

最終的に250人以上の方々が本学会の発起人としてご参加いただき、平成18年8月19日に藤島弘道先生を会長として信州公衆衛生学会設立総会及び信州公衆衛生学会総会を開催する運びとなりました。

この学会は、活動として年一回の総会開催とより多くの情報交換の場の提供を行うことを当面の目標としております。将来的には、長野県に根を張った公衆衛生活動を世界に発信できる場と発展していくことを願っているところです。

本学会の発足にあたり、発起人としてご参加いただいた会員の方々、ご支援いただきました長野県内の関係団体の皆様方、及び発足に際しご理解いただきました日本公衆衛生学会に深く感謝いたすとともに、今後ともご支援いただきますことを衷心よりお願い申し上げます。

信州公衆衛生学会設立準備委員 一同